

## 《介護実習の段階別展開と目標》

### ★実習の意義

- 1) 既習の介護理念、知識、技術を駆使して実際の利用者を対象に介護を展開し、介護実践能力を習得する。
- 2) 介護福祉現場における学習体験を通して、介護福祉専門職としてのアイデンティティを形成する。
- 3) 介護福祉を取り巻く社会情勢に目を向け、社会のニーズに応じた専門職の役割を認識し、自己を高める姿勢を養う。

### ★介護実習の展開と目標

段階	年次・時期	実習施設	目的	目 標
実習Ⅰ (2単位)	2年次 春期休業中 集中2週間	障害者支援施設 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 小規模多機能型施設等	利用者の介護 ニーズと介護 福祉専門職の 役割を学ぶ	①福祉施設で生活する利用者の生活状況及びその環境を理解する。 ②利用者と援助関係を構築し、介護ニーズを把握する。 ③利用者の日常生活を支援する基本的介護を学ぶ。 ④介護福祉の役割・機能について理解を深める。
実習Ⅱ (3単位)	3年次 夏期休業中 集中3週間	重症心身障害児(者)施設 身体障害者療護施設 介護老人福祉施設	利用者の個別 性に合った介 護過程の展 開を学ぶ	①利用者の生活背景や障害の状態に応じた介護を展開する。 ②介護チームにおけるメンバーシップ・リーダーシップを学ぶ。 ③介護活動と関連する他職種との連携・協働について学ぶ。 ④ケース・スタディに取り組む。
実習Ⅲ (1単位)	4年次 春学期 定日6日間	(ヘルパーステーション) 訪問介護事業所	地域で在宅生活をする利用者の介護、生活支援のあり方を学ぶ	①在宅生活をする利用者を個別訪問する際の基本的マナーを学ぶ。 ②在宅における利用者の生活ニーズを把握し、介護を展開する。 ③在宅生活を支援する専門職チームのアプローチについて学ぶ。 ④自己の介護観を形成する。
実習Ⅳ (4単位)	4年次 夏期休業中 3週間と 秋学期 定日6日間	介護老人保健施設	利用者の施設から在宅生活への移行を視野に入れた生活支援のあり方を学ぶ	①利用者の施設から在宅生活への継続した介護を展開する。 ②専門職チームの総合的アプローチについて学ぶ。 ③介護管理の意義とその方法について学ぶ。 ④ケース・スタディを実施し介護観を構築する。